



## 新機能および変更された機能に関する情報

ここでは、ソフトウェア リリース別に、このマニュアル内の新しい情報および変更された情報とそれらの情報の場所を示します。

機能	説明	変更されたりリリース	参照先
バックアップ サブグループ	プライマリ サブグループをピン接続する場合は、最大 7 つのバックアップ サブグループを割り当てることができます。	4.2(1)SV1(4a)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
ポート チャンネルの相対的な番号付け	サブグループの番号が 0 から開始され、 <code>vmnic</code> 番号には固定されません。	4.2(1)SV1(4a)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
ポート チャンネル vPC-HM	複数のアップストリーム スイッチに接続する場合、インターフェイスの <b>sub-group cdp</b> コマンドがポート チャンネル vPC-HM の設定から削除されています。	4.2(1)SV1(4)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
vPC-HM に対するネットワーク ステート トラッキング	vPC-HM 用に設定されたポート チャンネル上のリンク障害を正確に特定します。	4.2(1)SV1(4)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
LACP の VEM 管理	LACP プロトコルの動作を VSM から VEM にオフロードできます。	4.2(1)SV1(4)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
LACP	<b>feature lacp</b> コマンドを使用して機能をオンにすることによって、LACP ポート チャンネル機能をイネーブルにすることができます。	4.2(1)SV1(4)	第 5 章「ポート チャンネルの設定」
システム ジャンボ MTU	システム ジャンボ MTU 値は 9000 に固定されており、変更できません。	4.2(1)SV1(4)	第 2 章「インターフェイス パラメータの設定」
インターフェイス MTU	インターフェイス MTU を 1500 ~ 9000 に設定できます。	4.2(1)SV1(4)	第 2 章「インターフェイス パラメータの設定」
接続されたポートへの vEthernet インターフェイスのマッピング	vEthernet インターフェイスが、MAC アドレスのほか DVPort 番号によって、接続されたポートにマッピングされるようになりました。	4.2(1)SV1(4)	第 4 章「仮想イーサネット インターフェイスの設定」

機能	説明	変更されたリリース	参照先
グローバル vEthernet インターフェイスの制御	<p>vEthernet インターフェイスの次の自動制御をイネーブルまたはディセーブルにできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未使用の vEthernet インターフェイスの削除</li> <li>手動の vEthernet 設定の消去</li> <li>vEthernet インターフェイスの作成</li> </ul>	4.2(1)SV1(4)	第 4 章「仮想イーサネット インターフェイスの設定」
設定制限	vEthernet インターフェイス、vEthernet トランク、およびポート プロファイルの設定制限が追加されました。	4.0(4)SV1(2)	第 7 章「インターフェイスの設定制限」
show interface vethernet コマンド	<p><b>show interface vethernet</b> コマンドで、指定したインターフェイスの 5 分間の入出力パケット/ビット レートの統計情報が表示されるようになりました。このコマンドの出力を示す設定例が、変更を反映するように更新されました。</p> <p><b>(注)</b> <b>show interface ethernet</b> コマンドの出力も、これらの新しい統計情報を提供します。</p>	4.0(4)SV1(2)	第 4 章「仮想イーサネット インターフェイスの設定」
vPC ホスト モード	サブグループの手動作成をサポートします。	4.0(4)SV1(2)	第 5 章「ポート チャネルの設定」
静的ピン接続	特定のポート チャネル サブグループへの vEthernet インターフェイスの割り当て (ピン接続) をサポートします。	4.0(4)SV1(2)	第 5 章「ポート チャネルの設定」